

【別紙】 令和4年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立桜町小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	かしこく なかよく たくましく
目指す学校像	子どもたちの笑顔(学ぶ笑顔 人とかかわる笑顔 安心して過ごす笑顔)が輝く学校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	6名
事務局(教職員)	4名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 (令 和 5 年 2 月 1 日 現 在)		
	年 度 目 標		具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	
	現状と課題	重点目標				達成度
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 小規模校であるため、一人一人が担う分掌等、役割が多い。また、経験の少ない教員も多く、積極的な学校運営への参画意識の醸成とミドルリーダーを中核とした組織力の向上が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌業務を主任一人で遂行することのないよう、業務が特定の教員に偏らないようにする。 各教員が主となる立場で職務を遂行することにより学校運営参画意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 部会制も生かしながら複教で業務を遂行し、個人の負担を軽減する。 各提案作成時に管理職との質疑を経ることにより、学校運営への参画意識を高め、ミドルリーダーを育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の分担に沿って、組織的に複数対応を原則として業務を遂行することができた。 各担当が全体へ提案する前に管理職に相談に来ることが定着してきて、学校運営が円滑に行えるようになってきた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 各主任を中心にチームで組織的に対応していくことを継続していく。 教育課程の変更、会議の精選を図り、時間を生み出すことで業務の質の向上させる。
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 全国や県の学力学習状況調査の結果から、基礎学力の定着はみられるが低次元の学力向上が課題である。 新体力テストの結果から体力向上に課題がある。 コロナ禍で対話的な学びの場が確保できなかった現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協働して、自ら課題を見つけたり、課題を解決したり、新たな考えを生み出したりする力を育成していく。 運動好きな児童を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話的な学びを視点とした授業改善に取り組み、授業の中で学んだことを発信する場を設定していく。 体育授業研究を通して、「できる・わかる・伸びる」授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアや少人数での対話の機会を意図的に設定する授業が増え、自分の考えを深めたり、新たな考えを生み出したりする学びが増えた。 新体力テストの結果から、昨年度から伸びが見られ、総合的に見て市、県の平均を超えた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全国、県、市の調査の結果から、概ね学力・体力は高い状況にあるが、個人差はある。学ぶ楽しさ、できる喜びを感じさせ、協働的な学びと個別最適な学びに取り組み授業が増えるよう、教育課程を変更して、教材研究、授業準備の時間を確保する。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域、外部機関の教育力を学習活動、教育支援活動に取り入れていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会による学校経営・運営の推進と、学校応援団、自治会長、民生委員、PTAとの連携により、地域の教育力を学校に取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会において、本校が目指す学校像を明らかにした上で教育活動に理解をいただき、必要な支援を共に考え実施していく。 学校日より、HPに教育活動を紹介し、保護者や地域に向けて発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を当初の計画通り、年3回開催し、学校経営方針に則った本校の教育活動についてご理解いただき、お褒めの言葉とご助言をいただくことができた。 学校日より、HPに教育活動を紹介したことで、児童、保護者、地域の方々に話題にいただき、つながることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の各評価をもとに課題を精査し、次年度の学校経営及び学校運営の計画立案を進めていく。 地域の方々の登下校の見守り、挨拶運動、懇談会は、児童の成長を見守る上で大変意義あるものなので今後も継続していく。
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> この2年間、外部の研究授業等に参加することができなかったため、授業づくりのイメージが固定化していたり、一斉授業に終始しているところが見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業づくりについて、学び合える教職員集団を構築して授業力を向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> 先行研究している学校の研究発表等に参加し、授業づくりについて学んできたものを校内で実践、共有する。 互いに授業を参観し、授業づくりについて話す姿が多く見られ、学期を追うごとに互いに学び合う姿も増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策からオンラインの授業公開の学校が多かったが、可能な範囲で足を運んで学ぶことができた。 職員室でも、授業や児童の姿容について話す姿が多く見られ、学期を追うごとに互いに学び合う姿も増えた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 研修について、学校課題研究である健康教育を柱にしながら、他教科についても互いに授業を見合い、授業づくりを高めるシステムを構築する。 他の学校の研究発表会等に参加し、自らの授業づくりに生かす経験をさせる。
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の老朽化が著しい。特に壁の塗装の剥がれ、雨水による雨漏り、校庭・校地の水没被害などがある。 緑豊かな環境を維持するとともに校内美化に努め、安心・安全な教育環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安心・安全な学び舎として、計画的な修繕・整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の安全点検、環境整備に対する意識を高めて、学習環境の充実と施設・設備による学校事故0にする。 プール、北校舎の連絡手段を整備し、有事の際の対応を迅速にできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教頭を中心に、劣化した遊具の撤去、校舎内電気の順次LED化など、関係教員と連携を図り、環境整備を進められた。 職員室を中心に、プール、北校舎をインターフォンでつなぐことができた。 PTAと連携し、緑化環境整備ができた。 教材費の振込徴収は、会計事故防止、業務負担軽減の点で大きな成果を上げた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の老朽化により、学校予算だけでは修繕が難しい。市教育委員会にも働きかけを継続して、学習環境をさらに整え、子供たちの学びを支えていく。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日 令和5年2月3日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
出席者	
学校関係者(教職員を除く)	6名
事務局(教職員)	4名
・チーム桜町小として各位の取組の連携が大きな成果となったと思います。おめでとうございます。各位、皆さんのご努力です。	
・子供達が多様化していく中で、先生も大変だと思います。理想は、一クラスに2人担任の先生がいるとよいと思っています。	
・個人的資質の向上はもとより、組織的な連携による業務充実は望ましい。	
・「教師は授業で勝負」という校長先生の言葉が印象的であり、また期待している。そのための改善策を様々な講じられていてとてもよいと思う。	
・国算で5・6年生の県市正答率が大きく上回ったとの結果、先生方の努力の成果でもあると確信します。益々のチャレンジに期待します。	
・教える技術が素晴らしい先生がいるので、是非共有していただきたい。川口市の大きな財産である。	
・桜町小は伝統的に体力で悩んできたと思えます。総合的に見て、市・県の平均を超えたとのこと。積み重ねてきたものが、実を結んできたということでしょう。	
・学力、体力のレベルの向上が認められ、全体の参加意識の継続充実は望ましい。	
・紙物の「桜町小だより」はよい情報源になっている。	
・地域の方も大いに利用できることはよいことである。	
・学校HPの学校ブログの更新が頻繁にされていて、まさに「開かれた明るい学校」という印象ももてる。子供たちや先生方の活気あふれる様子も伝わってくるので是非続けて欲しい。	
・コロナ禍に伴い、HPなどの活用が多くなったと思います。今後「開かれた学校⇄学校・児童の安全」難しい問題です。	
・校長先生はじめ、諸先生方、皆様によくしていただいています。限られた時間の中で学校の公開も、とても意義があると感じています。	
・先生各位の初志貫徹を。	
・時代の変化、児童の変容に対応した授業構築について関心育成は重要である。	
・毎週発行の学級通信からも、担任の先生方の思いや指導方針などが伝わってきており感謝している。	
・組織運営と資質の向上。教職員の心身の健康が心配です。	
・現状でも満足しているが、さらに「どの子も学ぶ楽しさを実感できる」ことに向けて取り組まれるとのこと。感謝と共にとっても期待している。	
・保護者としてできることはどんどんやっていきたいと考えている。	
・先生の数を増やし、日々忙しい中にも振り返ったり、技術を確認したりといった時間が先生達に与えられるべきだと思います。	
・学校施設の老朽化、現状につき、市教育委員会宛にPTA/桜町小地区自治会が共同で働きかけを行う。(安心・安全の確保とその予算、働きかけの継続)	
・少ない予算の中で一つ一つ数も吟味され、購入、管理されていると感じます。体育館の補修は、市の予算と思います。安全面にも関わることなので、ご配慮いただきたいと思います。	
・設備の充実、環境整備充実は業務の励みになるので、継続的に進めることがよい。	
・全体を通して「学校自己評価」に賛同する。来年度は、校内清掃の活動を増やすなど、学校にとってもより有意義なPTA活動になるようにしていきたいと考えている。	